

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: キャスタークリーナー
製品コード: 707111
会社名: 有希化学株式会社
住所: 新潟市江南区両川2丁目3927番地21
電話番号: 025-282-9333
緊急時の電話番号: 同上
FAX番号: 025-282-9331
メールアドレス: info@yuki-chemical.com
推奨用途及び使用上の制限: 洗浄、カビ取り、漂白剤

2. 危険有害性の要約

本製品の危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 分類対象外または区分外
不燃性であるが、酸性物質と反応し中和熱を発生する。
塩素系漂白剤を含有しているため、酸性物質と反応し有害な塩素ガスを発生する。

人健康有害性	急性毒性(経口) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 金属腐食性	区分外 区分1 区分1 区分1
環境有害性	水生環境急性有害性	区分2

* 記載のないものは分類対象外または区分外及び分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
水生生物に毒性
金属腐食のおそれ

注意書き:

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
作業時は薬液が飛び散らないように注意して投入すること。
眼、皮膚、又は衣類に付けないこと。
ミストやガスを吸入しないこと。
取扱い後は手洗、うがいを充分行い、作業衣の付着物を落とす。

【緊急措置】

眼に入った場合:

眼に入った場合、直ちに流水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合:

飲み込んだ場合は大量の水または牛乳を飲ませる事が良い場合もあるが、状況により異なるので必ず医師の指示を受けてください。

皮膚に付着した場合:

皮膚に付いた場合、直ちに大量の水で、ヌル付き感が無くなるまで洗ってください。

吸入した場合:

吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移し、うがいをする。その後、安静にして出できれば酸素吸入を行う。

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

注意書き:

【保管】

乾燥した冷暗所に保管して下さい

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報:

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物:

混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
次亜塩素酸ナトリウム	10%未満
キレート剤	非公開
陰性界面活性剤	5%未満
水酸化カリウム*	1%未満
水酸化ナトリウム*	1%未満
両性界面活性剤	1%未満
可溶化剤	非公開

* 労働安全衛生法通知対象物質

4. 応急措置

吸入した場合:

蒸気、ガス、ミスト等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合:

接触した場合、直ちに汚染された衣服および靴を脱ぐと同時に多量の水で皮膚を15分以上洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

目に入った場合:

直ちに清浄な水で洗浄を始め、15分以上洗顔する。瞼の裏まで完全に洗う事。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと視力の障害や眼の炎症を生じる恐れがある。医師の診断、手当てを受ける事(すぐに痛みが無く視力に影響が無くても障害が遅れて現れる事があるので必ず医師の診断を受ける)。

飲み込んだ場合:

口をすすぐ。1-2杯の水を飲む。嘔吐を誘発させてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法:

周囲が火災の時、速やかに安全な場所に移し、漏洩防止等の処置を行う
消化水や希釈水の流出による汚染に注意

消化剤:

ウォータースプレー、ミストあるいは泡沫を使用する。

消火を行う者の保護:

作業に当たっては、必ず保護具(自己呼吸器又は保護マスク・保護眼鏡・保護手袋・保護長靴・保護衣など)を着用して作業する。
消火活動は風上から行う。
暴露した場合、医師に連絡する事(緊急の処置が必要な場合、このラベルの緊急措置を参照)。

火災時の特有の危険有害性:

火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に毒性を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。適切な防護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風下で作業をしない。また、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項:

大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。排水管または水路に流れ込まないようにすること。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

回収、中和:

漏洩したものが飛散しないような処置をして、空容器などに出来るだけ回収し、その後チオ硫酸ナトリウム(ハイポ)水を用いて中和した後、多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

緊急要員がいない場合、漏出物を囲い込む。少量のこぼれは、吸湿材(適切な吸湿材がないときは、土を使用してもよい)を加えて吸い取らせた後、すくい取って漏れない密閉容器に入れて廃棄する。大量漏出の場合、漏出物の周囲に流出止めの囲いを作るか、もしくは流去水が水路に流れ込まないようにする。漏出物は適切な廃棄容器に收容して廃棄する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。

二次災害の防止策:

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気:

蒸気やミストの吸入を避けるために局所排気、全体換気を行う。十分な換気のもとで使用する。

安全取扱い注意事項:

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避:

酸性物質やアンモニアとの混合禁止。

保管

技術的対策:

特別に技術的対策は必要としない。

混触危険物質:

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管条件:

容器を密封し、換気の良い冷暗所に保管(保管温度範囲0~30°C)酸性物質と同じ場所に保管しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策:

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。そして、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具:

防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具:

換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではない。ネオプレンが推奨される。

眼の保護具:

適切な眼の保護具を着用すること。

化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。

安全眼鏡を着用すること。粉塵飛散によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

保護具

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

手の保護具: ゴム手袋
眼の保護具: 保護眼鏡
呼吸器の保護具: 保護マスク

衛生対策:

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など: 液体
臭い: 塩素臭
pH: 12.5 以上
融点・凝固点: データなし
沸点: 100°C以上
引火点: データなし
爆発範囲: データなし
蒸気圧: データなし
蒸気密度(空気 = 1): データなし
比重(密度): データなし
溶解度: 水に可溶
オクタノール/水分配係数: データなし
自然発火温度: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の実取には安定であるが、メタノールとの混触により爆発性生成物(次亜塩素酸メチル)の生成の可能性あり。脂肪族又は芳香族アミンとの混触により爆発性混合物(モノ又はジクロロアミン)の生成の可能性あり。

危険有害反応可能性: 通常の実蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。

混触危険物質: 酸、有機物、及び金属酸性物質または、アンモニアと混ぜると塩素ガスを発生する。

危険有害な分解生成物: 通常の実保及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

製品に対する情報はなし

原料情報

急性毒性経口: 水酸化カリウム: priority 1 に記載されているラット、LD50値の統計計算値が284mg/kgであったため区分3
水酸化ナトリウム: ウサギのLD50値325mg/kg(SIDS, 2002)のデータのみで、げっ歯類のデータがないため、分類できない。
次亜塩素酸ナトリウム: 区分外

製剤の急性毒性を計算するとATE_{mix}>5000となり、経口毒性は区分外とした。

急性毒性経皮: 次亜塩素酸ナトリウム: 区分外
急性毒性吸入: 吸入(ガス): 次亜塩素酸ナトリウム GHSの定義における液体である。
吸入(蒸気): 次亜塩素酸ナトリウム
ラットLC50>10.5 mg/L(IUCLID, 2000)のデータがあるがばく露時間が不明であるため分類できない。なお、飽和蒸気圧濃度(75.1 mg/L)の90%より低い濃度であるため、ミストがほとんど混在しない蒸気で試験されたと考えられる。

吸入(粉じん): データなしで分類できない
吸入(ミスト): データなしで分類できない

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

皮膚腐食性・刺激性: 水酸化ナトリウム 区分1
水酸化カリウム 区分1B
次亜塩素酸ナトリウム 区分1
皮膚区分1の次亜塩素酸ナトリウム含有量>5%のため区分1とした

眼に対する重篤な損傷・刺激性:
次亜塩素酸ナトリウム 区分1
水酸化ナトリウム 区分1
(皮膚腐食性であることから、区分1とした。)
水酸化カリウム 区分1
(皮膚腐食性であることから、区分1とした。)
皮膚腐食性区分が1であることより区分1とした

皮膚感作性: 水酸化ナトリウム 区分外
水酸化カリウム 区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露): 水酸化ナトリウム 区分1(呼吸器系)
水酸化カリウム 区分1(呼吸器系)

カットオフ値の1.0%より小さいので区分外とした

12. 環境影響情報

製品に対する情報はなし

原料情報

水生環境急性有害性: 次亜塩素酸ナトリウム 区分2
水酸化ナトリウム 区分3

水生環境慢性有害性: データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び還元中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
少量の水溶液は、次亜塩素酸イオンを含んでいるためチオ硫酸ナトリウムで還元中和した後、酸で中和処理すること。多量の場合、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染包装: 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制:

次の輸送に関する国内法規制に該当するので、定められている輸送方法に従う。
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

輸送の特定の安全対策及び条件:

輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
酸と接触すると有害な塩素ガスが発生するので、積載にあたっては酸性物質との混載は避ける。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
直射日光下での輸送は避ける。
水濡れを避ける。

15. 適用法令

消防法:

危険物に該当しない

労働安全衛生法:

該当しない

以下の成分が該当するが、1%未満により非該当
(政令番号 第319号—水酸化ナトリウム)
(政令番号 第316号—水酸化カリウム)

毒物劇物取締法:

該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法):

該当しない

安全データシート

製品名: キャスタークリーナー

作成日: 2012年12月21日

改定日: 2017年 7月 3日

化審法: 該当しない

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しております。

本製品は工業用の特定の用途向けに開発された商品です。

弊社が紹介した目的・用途及び用法以外では使用しないで下さい。

使用前にSDS／カタログを参照するなど、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。

全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱には十分注意して下さい。

又、この情報は当社で調査できる範囲内の情報であり、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。

災害事例

情報なし